

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
諏訪市	湖南地区	令和5年3月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	176.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内耕作者の耕作面積の合計	94.1ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	53.9ha
i うち後継者不在の農業者の耕作面積の合計	19.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	15.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	16.9ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・水田作には経営能力のある担い手が複数いる一方、畑の条件が悪いため、畑作の担い手が規模拡大できない。・水田圃場の規格が小さい。また、凍結や地盤沈下によって、水路や農道が老朽化している。・山側に畑があるが、水路等がなくて水が取れないため不便。また、鳥獣害が顕著。・資材代や光熱費などが値上がっており、農業経営を圧迫している。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・高齢化等で農業の継続が困難となった場合、農地が平地の水田であれば、担い手に作業委託して集約を進める。
<ul style="list-style-type: none">・地下水位が高いため、平地の水田での転作は困難。生産調整については、加工用米や新規需要米の取組を行うほか、そのためにも経営の効率化が必要。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<ul style="list-style-type: none">・他地区で推進中の水田農地の基盤整備事業に向けた検討を行い、担い手への農地集積を進め、担い手の農業経営の効率化を目指す。
--